

生産工業部会視察見学会 報告書

- 開催日 平成 30 年 10 月 22 日（月）
- 視察先 造幣局広島支局、藤い屋 IROHA Village、
大衆瀬戸内酒場 魚哲（懇親会）
- 目的 ものづくり現場の見聞を深めるとともに、部会員相互の懇親を図る
- 参加者 14 名（事務局含む）
- 主催 三原商工会議所 生産工業部会

本所生産工業部会（大目木康行部会長）では、10月22日（月）、広島県佐伯区五日市のものづくり企業2社の視察見学会と、親睦会を実施しました。

視察先は、造幣局広島支局、藤い屋 IROHA Village の2社、懇親会は大衆瀬戸内酒場 魚哲で行いました。

造幣局広島支局

造幣局広島支局は、昭和20年2月に広島市内の仮工場で貨幣の製造を始めました。間もなく原爆にあい、昭和21年1月に現所在地で貨幣の製造を再開し、昭和23年9月には貨幣製造の一貫作業を開始しました。

現在では、通常貨幣のほか、東京オリンピックや天皇陛下御即位などの記念貨幣、勲章、メダルの製造もおこなっています。また、春には八重桜が咲き誇り花見スポットとしても有名で、毎年写真コンテストも開催しています。

視察では、ビデオ鑑賞の後、貨幣の製造工程を見学しました。銅やニッケルといった貨幣の材料を溶かし鋳塊を作るところから、これを貨幣の厚みに延ばし、貨幣型に1分間で300個抜き取り、厳重に袋詰めされるまでを各々の工場を移動しながらご説明頂きました。



藤い屋 IROHA Village

もみじまんじゅうを作り続けてきた「藤い屋」が菓子作りをより追及するため、「学び、楽しみ、味わう」をテーマに、今年の3月オープンした「IROHA Village」。もみじまんじゅうの製造工程を目の前で見ることのできるガラス張りの五日市みなと工場をはじめ、土作りからこだわった畑、ベーカリー、ショップといった施設を兼ね備えています。

視察では、職人と機械が分担することにより1個3分40秒で効率良く商品が出来上がることや小豆へのこだわりなどをご説明いただき、出来立てのもみじまんじゅうも試食させていただきました。小麦や小豆を畑に植えて将来的には全て広島産の材料でもみじまんじゅうを作りたいという計画も伺いました。この他、ベーカリーや屋上ハーブガーデン等もご案内いただきました。



大衆瀬戸内酒場 魚哲（親睦会）

生産工業部会は、幅広い業種の事業所で構成されています。親睦会を開くことで、今回も普段なかなか交流のない事業所様同士が親睦を深めることが出来ました。

参加者の感想

- ・造幣局の紙幣を作る工程が大変興味深かった。
- ・今まで造幣局へ行こうと思ったことがなかったので、機会ができ意外なものが見られて大変良かった。
- ・焼き立てのもみじまんじゅうが美味しかった。
- ・IROHA Villageのことを新聞で知って一度行ってみたいと思っていた。タイムリーな情報だったので興味深かった。